



広告

「こもれび」voice 01. 2022 komorebi group

障がい者就労継続支援事業所「こもれび」

「こもれび」を通じて福祉を変えたい。

8年前から障がいのある方の居場所と働く場所を地域密着で作ってきた株式会社こもれび。知立市、安城市、刈谷市、豊田市を中心に、現在利用中の方が300人を超えました。今回は昨年こもれびに入社した職員教育係の坂本さんに現在のお気持ちをお聞きしてみました。



職員教育係 坂本
入社 2021年9月

Qはじめに坂本さんといえば大手保険会社や冠婚葬祭業などで長年社員教育の総轄をされてきた、いわば「マナー教育のスペシャリスト」なわけですが、障がい福祉事業所への転職を決めた理由は何ですか？

(坂本) やめて下さい！ スベシヤリストじゃないですよ(笑)！ ただ社員教育に長く携わる中で、お客様の立場に寄り添い心を込めたサービスをする大切さを伝えて来たのですが、障がい福祉の現場を知るほどに、この世界は単純なマナーの先の先、心を込めたサービスの中でも障がい特性に配慮した究極のものが求められる場だと感じました。例えば単純に挨拶ひとつを取っても一般的なマナー研修では「元氣よく大きな声で伝えるわけですが、特性に配慮すると大きな声が苦手な方もいらっしゃる。単純な配慮だけでは難しい部分がある。そんなマナーの先にあるものを私も学んでいきたいと思ったからです。

Qこもれびが教育に力を入れている背景を教えてください。

(坂本) 私が入社して二ヶ月の頃に「坂本さん何か必要だと思いませんか？」と経営陣自ら意見を求めてこられて感動したことがあります。遠慮せず何でも言ってみよう、何かか今のこもれびを変えたいと、新人でしかない私になりふり構わずに聞かれる姿勢「こもれびを通じて福祉を変えたい」という社長の強い想いを感じました。たまたま同様の職員の言動で会社のイメージは変わってしまいます。会社の方針と異なる言動が気になって利用者様や職員が退職してしまうことをなくしたい。そのために職員の研修制度をしっかり作り上げたいという上層部の思いがあります。

Qどのように研修を進めているかを教えてください。

(坂本) リアルな現場に沿ったマニュアルを作ることで、まずは職員全体で「正しいやり方」を共有したい。そのために、まずは施設長を始めとした現場を知る、今まで支えてきた方々を中心に、一から障がい者の就労支援施設にふさわしい接遇マニュアルを四ヶ月かけて皆さんと一緒に作成しました。現在それをもとにして、支援員に

限らずすべての職員に対して複数の研修がスタートした段階です。私も若いころはそうだったのですが、例えばマナー不足はやり方を知らないだけではないか、教育を取り入れて気持ちの在り方を伝えることで変わっていくのではないかと、希望を持って行っています。

心を入れて接することを大切にしたい。

Q研修を通じて職員に何を伝えたいですか？

(坂本) 感謝の気持ちを伝えることを大切にしていきます。利用者様に来ていただいたありがとうございますという感謝の気持ち、共に働く仲間へ一緒に動いてくれてありがとうという気持ち… 全ての人に感謝の思いを伝え合う中で生まれる信頼関係の尊さを伝えたいです。マナーは形に過ぎず、ただ目の前の人を尊重し、心を入れて接すること、その大切さを伝えていきたいです。

Q最後に坂本さん自身の思いを教えてください。

(坂本) 全ての利用者様が「また来たい」と明日を楽しみにしてくださるような施設を作ることが目標です。就労継続支援としての接遇日本一の施設だ、と言っていただけの会社にしていきたくありません。一緒に働いている人たちの身近な人や家族が事業所を利用したい、となった時に「こもれびにおいでよ」と自信をもって奨められる、1ミリの悩まずに言い切れる、職員も利用者様も「こもれびで働いてよかった」と言ってもらえるような、選ばれる会社を私も一緒に作って行きたいことが目標です。私もそこを少しでも貢献できるように成長していかなければならないし、もっと学んでいかなければならない。勉強の日々です。教育担当として社長の強い想いを研修を通じて全職員にどうしたら解りやすく伝えられるのか？ 目標は高く掲げていますが、きつと思わなければ達成、実現することはないので思い続けています。

毎日がよいこと。それが仕事の第一歩。



こもれびグループ
利用者様への約束!

- その1 ノルマは有りません!
- その2 自分のペースで焦らず!
- その3 仕事は楽しく伸びやかに!

私達が配慮・サポートします! ご安心ください。

- 例1** 聴覚過敏がある方には
ヘッドフォンイヤーマフを使用してお仕事していただきます。
- 例2** 麻痺のある方には
階段の昇降に支援者が付き添わせていただきます。
- 例3** 光線過敏の方には
作業に集中できるように窓のない席とパーテーションなどの配慮をします。
- 例4** 母国語が日本語以外の方には
翻訳アプリを導入してコミュニケーションの円滑化に取組みます。



冷暖房空調完備の整った作業環境です。

無料相談随時やってます ※上記以外にもできる限りの心配りを致します。

- こもれび第1 就労支援B 〒472-0036 知立市堀切3-37-2
- こもれび第2 就労支援A 〒472-0035 知立市長田3-47
- こもれび第3 相談支援 〒472-0035 知立市長田3-47
- こもれび第4 就労支援B 〒472-0004 知立市南陽1-98
- こもれび第5 放課後等デイ 〒472-0004 知立市南陽1-98

- こもれび第6 就労支援B 〒448-0862 刈谷市野田新町2-702
- こもれび第7 就労支援B 〒472-0031 知立市桜木町桜木66-84
- こもれび第8 就労支援A 〒472-0035 知立市長田3-47
- こもれび第9 就労支援B 〒448-0801 刈谷市板倉町2-7-3
- こもれび第10 就労支援A 〒472-0052 知立市弘法1-10-7



株式会社こもれび 【本部】 〒472-0035 愛知県知立市長田3-47
Tel.0566-84-5595 Fax.0566-84-5596



障がい者就労支援A・B型 / 放課後等デイサービス / 相談支援事業所

<https://komorebi.kmgr.jp> **こもれびグループ**

※「広報ちりゅう」発行経費の一部に充てるため、有料広告を掲載しています。内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。